

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月20日

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		法令の基準を上回る十分な広さを確保しており、活動内容や状況に応じて適宜うまく活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6		現在、児発管1名、保育士2名、児童指導員2名、専門職員1名が在籍し、国の基準を満たした人員配置となっております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		現在、事業所内での車いすの使用はありませんが、室内は段差のないフラットな環境になっています。 児童の特性に応じた環境づくりを心がけ、分かりやすい生活動線や安全に配慮しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		定期的なミーティングやリフレクション会議等で職員間の情報交換や共有を図り、個人の課題の把握、目標設定、振り返り等を行うPDCAサイクルを取り入れています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有し、業務の改善に努めております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		COMPASS 発達支援センター公式Web サイトにて公開しております。	今後も公式webサイトで公開してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上に努めております。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		定期的にあセスメントを行い、児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しを行っています。 また、関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		標準化されたアセスメントツールを活用し、的確な状況の把握に努めております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		児童の特性や課題を職員間で共有し、共通理解のもと、一人ひとりの目標に応じた課題や、季節に合ったプログラムをチームで立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		プログラムが固定化しないように、個別活動では個々に必要な課題を提供し、集団活動では季節感を味わい、生活体験に繋がるように工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		平日は、継続的な学習課題に取り組み、長期休暇では、普段の学習課題に加えて、長期休暇中の目標を定めて、一人ひとりに適した活動課題を設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		前日の振り返りをもとに、支援開始前に打ち合わせを行い、支援内容や役割分担の確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、連絡ノートなどを活用し、その日の活動で気づいた点などの情報を共有しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の療育内容や生活面での気づきを経過記録に残すことで、情報を共有し支援の改善に繋がっています。	
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		6カ月以内には必ずモニタリングを実施し、保護者様のご意向を踏まえて児童の現状を把握したうえで計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6		児童一人ひとりの課題や状況、支援計画の内容を考察し、ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせた具体的な支援計画を作成しております。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		担当者会議には児童の状況や保護者様のニーズを一番把握している児発管や、その児童に多く関わりを持つ職員が参画しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		行事予定などのプリントを事前に提示していただき、送迎の変更など情報伝達できています。 また保護者様の許可を得たうえで、学校とも定期的に連絡を取り、共通理解に努めております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		児童が通っていた支援事業所などの関係機関と話し合いの場をもち、情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるように心がけています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		担当者会議等を通して支援内容の情報共有と相互理解を図り、移行先でも活動に役立てていたできるよう努めております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		専門機関との連携に努め、情報交換、助言を受け、他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	現時点では、交流の機会はもておりません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討を行ってまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		6	現在、協議会への参加はありません。	今後は、今以上に協議会等の活動に関心を持って関わっていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳のやり取りや送迎時、家庭連携の面談等を活用し、保護者様との情報交換を行い、児童の現状や課題について、共通理解を深めています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		保護者様の子育てのお悩みなどには職員間で話し合い、適切な助言をさせていただき、ご家庭でも取り組めるように分かりやすくお伝えしています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時には、児発管が分かりやすい説明を心がけ、変更等があった際はその都度改めてご説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		日頃からコミュニケーションを図り、ご相談やご質問、お悩みについてはご相談しやすいように心がけています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	現時点では父母の会や保護者会などは開催できておりません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討を行ってまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		保護者様からのご相談や申し入れに対しては迅速に対応しております。 全職員が共通理解に努め、保護者様や児童に安心して利用していただける環境づくりを目指しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		6	WebサイトやLINE公式アカウント等でブログの更新や事業所の様子をお伝えしています。 また年4回季刊誌を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報の取り扱い徹底しており、関連書類は全て鍵付き書庫に保管しています。情報使用時には保護者様に書面での同意を頂くように配慮しています。	
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		児童の特性や状況に合わせて分かりやすい手段での情報伝達に努めております。保護者様にも丁寧に関わりやすい表現を心がけています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	今年度は、事業所のイベントに地域の方々を招待する機会はありませんでした。	保護者様のニーズを確認し、同意をいただいた上で児童と地域住民の方々と一緒に参加できるような行事の企画を検討してまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		緊急時の対応マニュアルを作成しており、保護者様や職員にも見やすい場所に掲示しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎年、年度初めに年間計画を立て、地震・火事・風水害・不審者への対応などの避難訓練を定期的の実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		定期的に職員研修を実施し、虐待防止への理解と意識向上に努めております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		現時点で該当者はいませんが、利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合には、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることにしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		保護者様より面談時に詳しく情報をいただき、全職員で情報共有しています。 また定期的に状況確認を行い、情報を更新したり、室内の伝言板に記載したりして、全職員の周知に努めております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有しています。 ファイルで保管し、事例は振り返りを行い、再発防止に努めております。	